

市民産業常任委員会と 農業委員会との 合同研修会及び意見交換会



市民産業常任委員会と、農業委員会との合同研修会及び意見交換会を10月31日、市役所の全員協議会室にて開催しました。

第1部では、「農地中間管理事業について」福島県農業振興公社から講義がありました。

第2部の意見交換会では、佐久間進市民産業常任委員長と砂塚功農業委員会長のあいさつで始まり、「担い手対策」などのテーマに沿って、活発な意見交換がなされました。

意見交換会テーマ

- 1 担い手対策
- 2 農地集積
(農地中間管理事業等)
- 3 遊休農地対策
- 4 その他

以上の4つのテーマを設けて、ワークショップ形式で、3つのグループに分かれ意見交換を行いました。

それぞれのグループから出た主な意見は

◎第一グループ

○担い手確保のために、非農家の人たちと話し合いをしたほうが前進的でないか。

○農産物の価格が低迷しているが、米・野菜・果樹など市としてのPRが不足していると思われるので、今後さらに取り組んでもらいたい。

○後継者不足と高齢化が進んでおり、農地に隣接する道路は管理や雑草等で支障が出ているので、市として対応を考えてほしい。

○遊休農地・耕作放棄地の拡大を防ぐことは難しいが、まず法面の草刈りから取り組んでみてはどうか。



◎第二グループ

○農業経営の規模拡大に伴い、地区の中に他地区の農業者が入ってきているが、草刈りなど管理をしない等の問題が生じている。

○耕作放棄地の問題だが、畑が荒廃して再利用できない場合、1つの案として、非農地にしてはどうか。

○相続の問題で、誰の管理かわからない農地がある。

○白河市所有の土地をしっかりと管理すべきではないか。農道を含めた側溝の環境整備をきちんとやってほしい。



◎第三グループ

○農業を含め地域のことは、地域の中で考えていくことが大事ではないか。

○国の施策は、大規模化を求めるばかりで、民間企業の参入に目が向いている。現実に専業農家として多くの農地を借り受けてやっている方に目が向いていないのではないか。また、兼業農家への支援が少ないのではないか。

○遊休農地・耕作放棄地があると、それに隣接する優良農地にも影響が大きい。

○中間管理機構を通して農地を集積する場合、集落の中で耕作している農業者が受けてほしい。



その他にも皆さんから農業に対する熱い意見が出されました。これらの貴重なご意見等に対しては、市当局とも内容を確認し、解決に向けての方策を検討してまいります。